

広報

世

2020
11
月号

No.
723

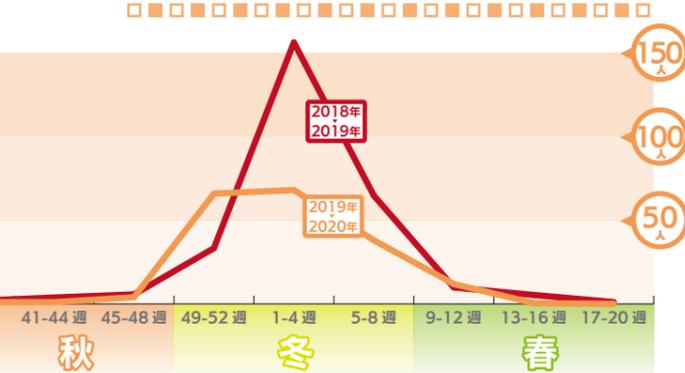
秋
から
冬へ

感染症対策

表紙写真 ▶ 辻 隆司さん
(町芸術文化協会写真部会 千草)

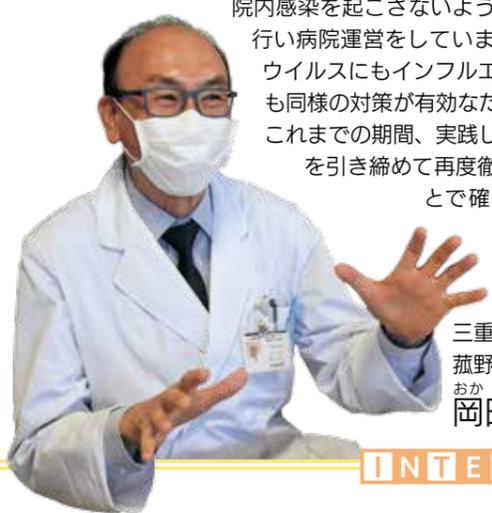
インフルエンザの患者届出数

【定点あたりの患者数推移】 出典 三重県



感染症対策として手洗いやマスクの着用を徹底したことで、例年に比べて県内のインフルエンザ感染者数は大幅に減少しています。

気を引き締めて対策の徹底を



三重北医療センター
菟野厚生病院 副院長
おかだ ゆうじ
岡田祐二さん

INTERVIEW

休日・夜間の受診について

多くの医療機関は平日の日中に比べ、それ以外の休日や夜間の時間帯に医師や医療スタッフが少いため、熱がある方は、市販の解熱剤などで対処して様子を見るようにお願いします。ただし、頭痛や腹痛、呼吸の苦しさや胸が痛いなどの症状は、肺炎などの可能性があるため、医療機関や下記までお問い合わせください。

緊急時の
問い合わせ

三重県救急医療情報センター

TEL 059-229-1199
FAX 059-246-9939



インフルエンザの存在も
季節性 インフルエンザは例年、1月中旬から下旬に感染のピークが起りますが、基本的な対策は新型コロナウイルス感染症と変わりません。また、100%感染を防げるわけではありませんが、インフルエンザへの有効な対策として予防接種があります。予防接種をしておけばウイルスに対する抗体が体内で作られ、かかりにくくなり、また、重症化も防ぐことができます。引き続き、しっかりと感染症対策を行い、この冬を乗り越えましょう。

接種時期

予防接種を受けてから抗体が作られるまで2~4週間の期間が必要です。流行のピークに合わせて11月中旬に予防接種を受けておきましょう。

接種時の体調

予防接種時に発熱症状などがあると体内で抗体ができにくい傾向があります。予防接種当日は、体調を整えて臨みましょう。

INFORMATION

インフルエンザワクチン接種費用助成

10月上旬に発送した助成券が必要です。
助成期間▶令和2年10月15日~令和3年1月31日
助成対象▶1歳以上から高校3年生相当の方
助成回数▶1歳~小学6年生 2回
 中学1年生~高校3年生相当の方 1回
 (平成14年4月2日生~平成20年4月1日生)
助成額▶1回目3,000円 2回目2,000円
※医療機関を受診する際、母子健康手帳をご持参ください。

かかりつけの医療機関で助成が受けられます。

助成期間▶令和2年10月1日~令和3年1月31日
助成対象▶接種当日65歳以上の方
 接種当日60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方で引退障害者手帳1級に該当する方、またはこれと同程度と医師が判断した方
負担額▶1,200円(1回のみ)

予防接種などで医療機関を訪れる際は感染症対策のため、事前に電話予約をして伺うことをお勧めします！



中の日差しも弱まり、少し肌寒くなってきた11月。鈴鹿山脈の木々も色づきはじめ、徐々に冬が近づいていることが感じられる季節になってきました。ただ一点、今年の冬が例年と違う点があります。それは、私たちの生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の存在です。気温が下がり空気が乾燥する冬の季節は、季節性インフルエンザウイルスなど多くの感染症が増殖しやすく、新型コロナウイルス感染症も同じような傾向があると言われていきます。これまで半年間以上実践してきたうがい、手洗い、マスクの着用などをもう一度、徹底する必要があります。加えて、冬という季節に合わせた感染症対策について、今月号ではお伝えしたいと思います。

暖房器具による乾燥



エアコン 電気ストーブ
作動中に水蒸気が発生しないため、乾燥しやすい

ガスストーブ 石油ストーブ
燃焼により水蒸気が発生し、比較的乾燥しにくい

乾燥注意報 01

エアコンや電気ストーブは作動中に水蒸気が出ず、乾燥しやすい傾向にあります。気温を保つことも大切ですが、暖房器具を長時間使用しての乾燥にも気をつけましょう。

冬 に感染症対策をしっかりとしなければいけない要因は空気中の湿度と気温が大きく関係してきます。季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症など飛沫や接触により感染する多くの感染症は、20℃未満の気温、50%未満の湿度で活発に増殖します。逆に20℃以上の気温、50%以上の湿度であれば、ウイルスが存在しているも活発な増殖は見込めず、感染するリスクを低減することができます。また、冬は外気が冷え込むことから、室内の換気が疎かになりやすいですが、定期的な換気も必要不可欠になってきます。ウイルスが好む気温や湿度を作り出さないよう調節すること、適度な換気を行うことのバランスが重要になってくると言えます。

乾燥注意報 02

就寝時には、換気ができないため、口腔内が乾燥しやすくなります。加湿器などで室内の湿度を保つか、室内で洗濯物を干すだけでも乾燥を防ぐことができます。

注意！就寝時の乾燥

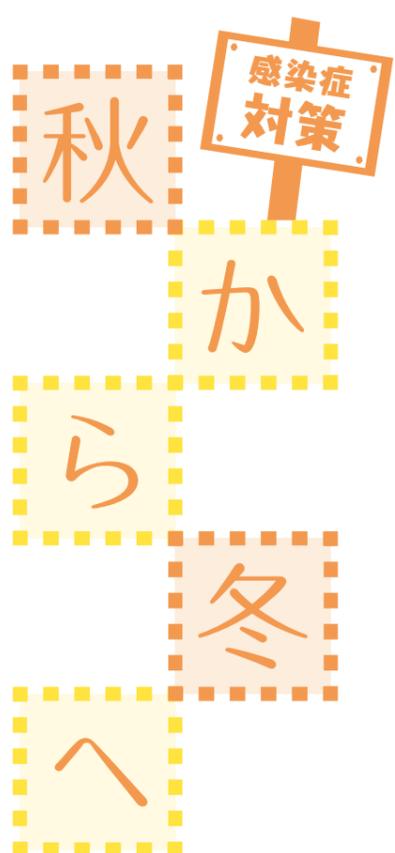


体調がよければマスクを着けての就寝も口腔内の乾燥を防げておススメです。

増殖を抑えて定期的な換気を

ウイルスが増殖しにくい環境

気温 20℃以上
湿度 50%以上



From Autumn to Winter

町民一人あたり 前年度比較

¥300,819 ↑¥1,615

※令和2年3月末の総人口 41,610人で算出

議会

町議会運営
1億6,121万円

一人あたり ¥3,874

前年度比較
↑¥107



社会福祉

老人、心身障がい者
23億1,421万円

一人あたり ¥55,617

前年度比較
↑¥2,292



児童福祉

保育園、母子、乳幼児
23億252万円

一人あたり ¥55,336

前年度比較
↑¥5,015



前年度比較
↑¥641

一人あたり ¥10,201

保健衛生 健康診査、各種検診、斎場
4億2,446万円



前年度比較
↑¥854

一人あたり ¥16,619

清掃 ごみ、し尿、不燃物処理
6億9,151万円



前年度比較
↑¥284

一人あたり ¥15,618

公債 元金・利子返済
6億4,987万円

菰野町財政

DATA

財政の健全化判断比率

	菰野町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.62%	20.00%
連結実質赤字比率	—	18.62%	30.00%
実質公債費比率	1.9%	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	350.00%	—

- ▶菰野町は実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字のため「該当なし(—)」となり、将来負担比率も基金残高や地方交付税算入額が将来負担より大きい「該当なし(—)」となります。
- ▶早期健全化基準のうち実質赤字比率と連結実質赤字比率は地方公共団体の標準財政規模に応じて異なります。

【用語の説明】

- ▶標準財政規模は、町税など一般会計の標準的な年間収入です。
- ▶実質赤字比率は、一般会計および土地所得特別会計の赤字額が、標準財政規模に占める割合です。
- ▶連結実質赤字比率は、地方公共団体における全ての会計の合計赤字額が、標準財政規模に占める割合です。
- ▶実質公債費比率は、一般会計の公債費および一般会計が負担する公債費の合計額が、標準財政規模に占める割合です。
- ▶将来負担比率は、一般会計の負債および一般会計が負担することになる負債の合計額が、標準財政規模に占める割合です。
- ▶早期健全化基準は、自主的な財政健全化が必要な段階で、これを越えると財政健全化計画の策定等が求められます。財政再生基準は国などの関与による確実な再生が必要な段階で、これを越えると国などから厳しい財政再生を求められます。

会計別決算額 (特別会計含む)

	歳入	歳出	差引
一般会計	132億7,858万円	125億1,706万円	7億6,151万円
特 国民健康保険	37億1,125万円	36億2,971万円	8,154万円
別 土地取得	701万円	670万円	31万円
会 介護保険	34億6,146万円	31億6,156万円	2億9,991万円
計 後期高齢者医療	8億6,898万円	8億6,155万円	743万円
計	213億2,728万円	201億7,657万円	11億5,071万円

企業会計	収入	支出	差引
水道事業	収益的収支 9億7,983万円	7億9,702万円	1億8,280万円
資本的収支	1億7,090万円	4億5,388万円	-2億8,298万円
下水道事業	収益的収支 12億3,065万円	11億4,839万円	8,226万円
資本的収支	14億6,651万円	17億6,254万円	-2億9,603万円

※四捨五入の関係で合計額等が合わない場合があります。

菰野町庁舎

KOMONO TOWN HALL

菰野町の令和元年度決算報告が町議会で認定されました。

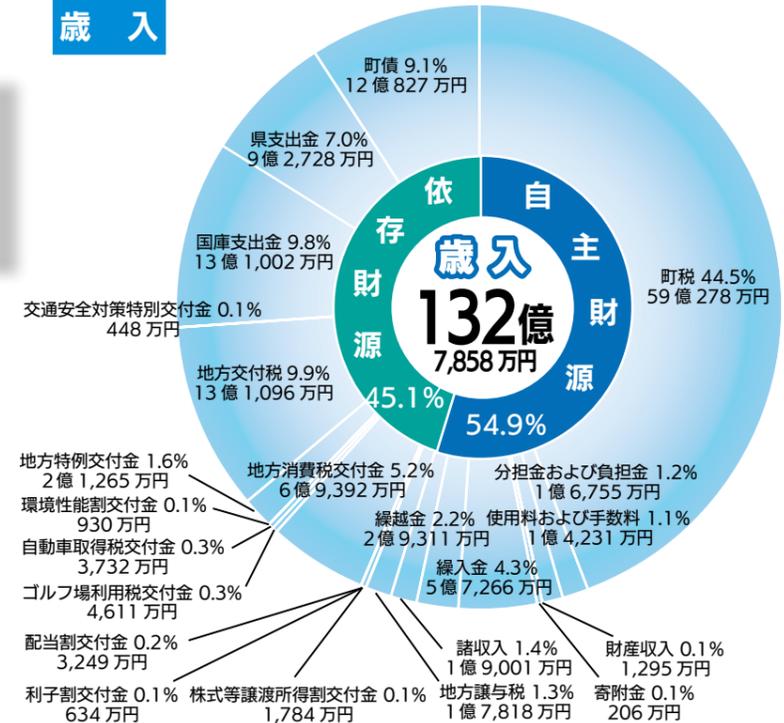
歳入の POINT

- ・歳入全体は前年度と比べ 2.0%増
- ・個人町民税は 2.3%増、固定資産税は 3.7%増
- ・地方特例交付金が 379.3%増

令和元年度一般会計決算の歳入について、町税全体で前年度に比べ 2.7%の増となり、歳入全体に占める割合では 44.5%となっています。主なものとして、町民税は個人町民税が 2.3%の増、法人町民税が 2.0%の増となりました。また、固定資産税は 3.7%の増となりました。

前年度との比較において歳入が増額となった主な要因としては、菰野小学校と菰野・八風中学校の大規模改修事業を行ったことなどで国庫支出金が前年から 16.3%の増となったことや、幼児教育・保育の無償化により生じる地方負担を補填するため地方特例交付金が 379.3%の大幅増となったことなどが挙げられます。

歳入



歳出の POINT

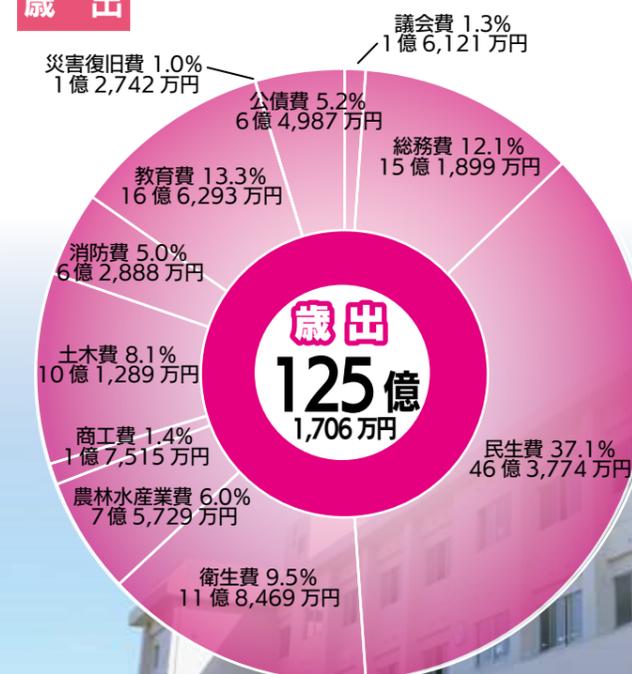
- ・歳出全体は前年度と比べ 0.2%増
- ・公債費等の義務的経費は 2.5%増
- ・投資的経費は 2.9%減

性質別分類では、義務的経費(人件費、扶助費および公債費)が前年度に比べ 2.5%の増となりました。増加の要因は、保育士・幼稚園教諭の増加等で人件費が増加したほか、幼児教育・保育の無償化に伴い扶助費が増加したことによるものです。また、歳出全体に占める義務的経費の割合は、42.0%となっています。

投資的経費は、B&G 海洋センター西側グラウンド改修事業や千種地区コミュニティセンター整備事業の減少等で前年度に比べ 2.9%の減となりました。また、歳出全体に占める投資的経費の割合は、13.7%となっています。

※義務的経費は支出が義務付けられ任意に削減できない人件費、扶助費、公債費が含まれます。投資的経費は、支出の効果が資本形成に向けられ、施設などが将来に残る普通建設事業費や災害復旧事業費などが含まれます。

歳出



9月 町内唯一の土地改良区に
29日 土地改良区が合併へ



◀ 調印式での記念撮影の様子

鵜 川原北部土地改良区と菰野町土地改良区との合併予備契約調印式が町長立ち会いのもと、役場本庁で開催されました。今回の合併は、町内土地改良区の運営基盤の安定化と地域との連携強化が図られることを狙いとしており、今後は鵜川原北部土地改良区が菰野町土地改良区と一体化する形で運営される予定です。菰野町土地改良区は、県内有数の規模を誇る1町に1つの土地改良区となります。

10月 来年の開催を目指して道路をキレイに
6日 県建設業協会が美化活動



◀ 手分けして道路脇に落ちていた廃棄物を拾う県建設業協会の皆さん

— 重県建設業協会四日市支部が、毎年恒例となっている美化活動を実施しました。例年、鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンの開催に合わせて実施されているこの活動は、今年は感染症の影響でマラソンの開催が延期と判断された中でも来年の大会開催を目指して実施されました。参加した約15人の県建設業協会の皆さんは、ごみ袋を片手にマラソンのコースとなる三重県民の森周辺から尾高観音駐車場周辺までの間を見回って落ちていたペットボトルやビニール袋などを拾い、美化活動を行いました。

10月 新しいデザインの車両が走る
1日 「かもしか号」新型車両運行開始



◀ 新型車両出発式の様子

菰 野町コミュニティバス「かもしか号」の新型車両が運行を開始しました。今回の新型車両のデザインは菰野高校の生徒にお願いし、2～3年生の美術の授業で制作したデザイン案の中から全校生徒の投票によって決定されました。採用された渡邊あんりさんのデザインは、町のカラーであるオレンジ色を基調に、緑の山や青空が描かれ、町観光協会のキャラクターである「こもしか」が配されたかわいらしいデザインになっています。また、新型車両はこれまでの車両と乗車定員や車体サイズはほぼ同じですが、バリアフリーに配慮して最後部座席以外は床がフラットになっています。同型の車両としては全国で初めて充電用USBコネクタを各座席に設置しており、乗車中にスマートフォンなどを充電することができます。今回の新型車両に限らず、町内を走るコミュニティバスの全車両に車内で利用できるWi-fiを整備し、乗車中の通信環境の向上も図っています。新型車両の運行コースは日によって変動しますが、ぜひ新しくなった「かもしか号」にご注目ください。

「かもしか号」の新型車両▼



10月 4年間の任期で新たに任命
1日 新教育委員を紹介



教育委員
水谷裕康さん

町 議会9月定例会での同意により、新たに教育委員に水谷裕康さん（竹成）が就任されました。任期は令和2年10月1日から令和6年9月30日までの4年間です。

長年の功績を称えて

- 高齢者叙勲 **瑞宝双光章**
佐々木 學さん (88歳 菰野第二区 元町立朝上小学校長)
- 危険物業務従事者叙勲 **瑞宝双光章**
内田英行さん (72歳 大羽根園 元県警視)

10月 戦没者を追悼し恒久平和を誓う
3日 戦没者追悼式典を開催



◀ 例年から会場を変更し、規模を縮小して開催した式典の様子

第 41回戦没者を追悼し平和を祈念する式典が菰野地区コミュニティセンターで開催され、戦没者の冥福を祈りました。感染症の影響を考慮して、会場を町民センターホールから菰野地区コミュニティセンターの多目的ホールに移し、大幅に参加者を減らすなど規模を縮小して開催しました。式典では、町長と遺族会代表の式辞の後、山口丹衣奈さん（菰野中3年）が非核平和宣言を読み上げ、平和への想いを伝えました。式典の最後には参加者が一人ずつ献花を捧げ、恒久平和を誓いました。

丁寧に非核平和宣言を読み上げた山口さん▶



9月 もしものときに活用できる手袋
24日 災害用耐切創性手袋を寄贈



◀ 感謝状を手に写る㈱フジ技研の鏡谷常務（写真左から2人目）

災 害時に割れた窓ガラス等の破片撤去や脱出経路の確保をする際に手を守る耐切創性手袋100双を㈱フジ技研が町へ寄贈しました。手袋を受け取った町長は「丈夫で何にでも使えそうな手袋を寄贈いただき有難うございます。まずは職員の身近な作業などに活用してみます」と感謝の思いを伝えました。

9月 感染症の収束を願って
27日 みどりの少年隊が植樹



◀ 楽しそうにタムシバを植樹するみどりの少年隊の子どもたち

新 型コロナウイルス感染症の収束を祈念して菰野町みどりの少年隊の子どもたちが三重県民の森にタムシバ（ニオイコブシ）を植樹しました。タムシバは、つぼみを取って乾燥させると鼻炎や蓄膿症などに効果があり、鎮静や鎮痛作用があるといわれていることから、感染症を収束させる願いを込めて植樹を行いました。参加した子どもたちは、木を植樹する穴を形づくることから始め、植樹に適した固さになるよう土を練ったり、タムシバを柵で囲ったりと一連の作業を行いました。子どもたちは楽しそうに植樹を行い、植樹した2本のタムシバは秋晴れの空に向かってまっすぐ伸びていました。

小さな勇気

きっと
だれかの
大きな支え
犯罪被害者週間

あなたや家族、友人が犯罪被害で困っていませんか？

三重県警察では、犯罪被害者等が受けた被害を早期に回復、軽減し、生活を再建していくためにさまざまな機関と連携して支援を行っています。一人で悩まずに、まずは相談してください。

犯罪被害者週間

11/25水 ▶▶ 12/1火

犯罪被害者支援の相談窓口

- みえ犯罪被害者総合支援センター
TEL 059-221-7830 (平日 10:00 ~ 16:00)
- みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」
TEL #8891 (平日 10:00 ~ 16:00)
- 性犯罪被害相談電話全国共通番号
TEL #8103 (24 時間対応)

WANTED

指名手配被疑者の検挙に向けて

重要指名手配

300万円	重要指名手配	300万円	重要指名手配
0000	0000	0000	0000
70歳 150cm H12 撮影	40歳 180cm H16 撮影	50歳 160cm H20 撮影	40歳 170cm H24 撮影
TEL 四日市西警察署 059-391-0110	TEL 四日市西警察署 059-391-0110	TEL 四日市西警察署 059-391-0110	TEL 四日市西警察署 059-391-0110

賞金 600万円

わずかなことでも警察に通報してください

警察では11月中、重大な犯罪の被疑者の早期発見に向け、全国で追跡捜査を行います。この捜査活動には、皆さんのご協力がぜひとも必要です。

警視庁ウェブサイト 指名手配



表彰式の様子。前列左から：孤野ライオンズクラブ会長 伊藤夕葵【千種小6年】、四日市西地区交通安全協会会長 鈴木奏音【八風中1年】、孤野町教育長 永井竜樹【菰野小5年】、孤野町議会議員 田中結子【菰野中1年】、孤野町長 藤波華菜【竹永小5年】、四日市西警察署長 位田蒼【朝上小5年】、孤野町小中学校長会長 羽川慈祐【鵜川原小5年】。※都合により表彰式欠席 ※敬称略

菰野町を安全なまちに
交通安全作文
コンクール

交通安全を題材にした作文コンクールの表彰式が、9月30日に役場本庁で行われ、菰野町長賞に選ばれた藤波華菜さんが入賞者を代表して作品を発表しました。このコンクールは、夏休みを利用して町内の小中学生を対象に募集したもので、696人から作品が寄せられました。

交通安全を題材にした作文コンクールの表彰式が、9月30日に役場本庁で行われ、菰野町長賞に選ばれた藤波華菜さんが入賞者を代表して作品を発表しました。このコンクールは、夏休みを利用して町内の小中学生を対象に募集したもので、696人から作品が寄せられました。

たくさんの方の支え

竹永小学校 5年 藤波 華菜

4月に私の弟が入学し、副班長の私と一緒に登校しています。ルールを理解していなかった弟は一番前の班長を抜かしたりお喋りして私の注意を聞いてくれず困ってしまいました。母に相談したら母は、「何で班長と副班長が前と後ろにいるのかわかる？」と、弟に聞きました。そして、「登校班のみんなを事故がないよう安全に登校するため前と後ろにいるんだよ。車が来たらずくに気付いて声をかけたりする大事な役割だから、お喋りしてたら聞こえないし、みんなが危険な目にあうんだよ。」と、言いました。

家から学校が近いので、私は気付かなかったけれど、入学してから今まで班長副班長の上級生がいろんなことに気をつけてくれていたり、近所の人やセーフティボランティアとして見守りや声かけをして下さっているのだから安全に登校できていたんだなあと思いました。私は事故をあまり見かけたことがないし、事故にあいそうになつたこともありません。それは私がつけていたからだけではなくいろいろな人がいるから安全だったのではないかと思います。この前、家の前の道路を工事していて、終わると道路が新しくなっていました。

町のお祭りに行った時、パトカーや白バイが展示してあって、おまわりさんが仕事を教えてくれました。

一昨年の夏休み、高速道路点検隊というイベントに参加しました。雪がたくさん降った時、道路が凍って危険なため雪をどける除雪車や高速道路のバトロールや事故が起こった時に駆けつけるパトカーにも乗せてもらいました。

高所作業車にも乗せてもらいました。この車は人が何人も乗れる大きなカゴをはしごで高いところまで上げることができます。そして高速道路をトンチンカチで叩いて道路を点検しました。下にいた人がとても小さく見えて少し怖かったです。たくさん高速道路があるのに、手作業でトンチンカチの音を聞いて点検してとても大変な仕事だなぁと思いました。

イベントに参加して、みんなの交通安全を守るためにはいろんな仕事の人や、交通安全の大切さをたくさん教えてくれました。また、私の知らないところでも毎日いろんな人がみんなが安全に暮らせるように支えてくれていたことに気付きました。安全な生活が当たり前のことではなく、何も起こらないことは、たくさんの人のおかげということに感謝して、私も副班長として、これからもみんなが安全に登校できるように声をしていきたいと思いました。

町長のひとり語

The Story of our Mayor



秋になり、少し世の中が落ち着きを取り戻してきました。国立感染症研究所の報告によると、新型コロナウイルス感染症以外の患者もかなり減少しています。これも皆さんの協力のおかげ。本当にありがとうございます。

これから冬に向かうにつれ、感染者数のさらなる増加も考えられます。もし、この冬を越して感染症へのおそれを克服したならば感染症の収束へ向けた大きな一歩になります。今一度、感染対策への協力をお願いいたします。

さて、菰野町では町民の皆さんにも地元を観光していただきたいという思いから、このおうえんチケット事業を開始します。この事業は、小学校6年生までのお子様および65歳以上の方を対象に1人当たり2000円分のチケット

Theme 20 みんなで菰野を応援

をお配りするというものです。チケットは、町内の飲食店や観光施設で利用可能で、この利用を通じて、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者のみなさんを応援していただくことができます。できれば、皆さんも菰野町が負担する2000円と併せてご負担をいただきたいと考えます。菰野町と町民が互いに楽しみながら助け合いの輪を広げたいと考えています。

加えて、ご家族などで町内の観光をしていただくことで、菰野の魅力を確認できるのではないのでしょうか。

この事業のほか、一般の事業者の皆さまで、これまで持続化給付金などの経済的支援が受けられなかった方への支援金の給付事業も併せて実施します。詳しくは町役場までお問い合わせください。

入賞者の皆さん
おめでとうございます



受賞作品を朗読する藤波さん ▶

郷土史・風俗

司馬江漢がめぐった菰野

天明6年(1788年)7月16日に門弟であった鈴木九右衛門がいる菰野を訪ねた江漢は、菰野で宿泊しました。翌17日に鈴木氏の案内で吉沢村の学者久保三水を訪ね、雨が続いて三滝川が氾濫したため菰野へ帰ることができず、さらに一泊しました。18日は、伊藤孫右衛門方へ出向いて歓待され、19日からは湯の山方面へ行き、温泉めぐりを楽しみました。そのときの宿は橋屋に泊まり、そのエピソードを面白おかしく紀行文に記しており、湯の山の風景がスケッチとして描かれています。この紀行文「西遊日記」は文政12年(1815年)に完成し発行されています。

江漢は文政元年(1818年)10月21日に没し、菩提寺慈眼寺に葬られています。



◀「西遊日記」に記載されたスケッチ

誰が好きだったのだろう辛いカレー
 思い出せずに今日は甘口
 ワークション・ココア・リモート・パンデミック
 コロナは次ぎ次ぎわが脳刺激す
 梅雨明けて雲間の青空きわだちて
 うつつら夕月ほほえむかに見ゆ
 誰ひとり姿のみえぬ散歩道
 マスクはずして深呼吸する
 誰も訪わぬ静かなお盆がゆきました
 夕餉に聴こゆる蝸の声
 細き枝にみっしり付きしむらさきの
 式部の珠実に秋雨の降る

尾崎久美子
 花木みち子
 平井光子
 平林和江
 増田陽出美
 奥村秋男

稲架並ぶ鈴鹿七岳背景に
 案山子立つ人の顔かと二度見する
 露草や孤高の旅を終へにけり
 酒肴畑で採った茄子胡瓜
 夫の影追い求めつつ花野行く
 あらためて吾輩は猫夜長し
 生きるすべ探るひとりの星月夜

赤塚恵子
 岡田りえ
 田中利秋
 伊藤えいし
 山下鞆絵
 千種知子
 小森てる美

短歌 清流短歌教室

俳句 竹永公民館俳句会 会員互選

11月 図書館カレンダー

1日
2月 休館日
3火
4水
5木
6金
7土
8日
9月 休館日
10火
11水
12木
13金
14土 14:00～ 楽しいおはなし会
15日
16月 休館日
17火
18水
19木
20金
21土
22日
23月
24火 休館日
25水
26木 15:30～ 英語のおはなし会
27金
28土 13:30～ 民話がり 14:00～ 楽しいおはなし会
29日
30月 休館日

※おはなし会やギャラリー展示は新型コロナウイルス感染症の影響により中止(延期)とする場合があります。

「寒蘭花展示会」
 ▶ 11月7日から11月8日まで

「税に関する作品展」
 ▶ 11月7日から11月17日まで

「文化に浸る」
 ▶ 11月23日まで

菰野町図書館 9:30-18:00
 TEL 391-1400 FAX 394-4433 http://www.town.komono.mie.jp/library

秋の夜長は「燈火親しむべし」

「燈火親しむべし」とは、漢詩の一節が由来で「秋になると、涼しく夜も長くなって、明かりの下での読書に適している」ことを意味しています。過ごしやすくなった「読書の秋」にぜひ図書館をご利用ください。



「文化に浸る」

▶ 11月23日まで
 11月3日は文化の日です。そこで眺めているだけで楽しい写真集や図鑑などの大型本を中心に芸術・科学・哲学の本を集めてみました。本で「文化」を感じてみませんか。



新着図書から



『絵本で世界を学ぼう!』
 ▶吉井 潤・柏原寛一 / 著
 ▶青弓社 (019.5/ヨ)
 本書は、105か国の国旗や地図、人口などの基本的な情報を解説しつつ、関連する絵本1冊を選んで紹介するガイドブックです。世界の人が戦争や紛争をすることなく生きてゆくためには、他の国々を知ることが重要です。大人も子どもと一緒に絵本を通じて世界への扉を開いてみませんか。



『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』
 ▶山極寿一 / 著
 ▶家の光協会 (J 489/ヤ)
 京都大学総長である著者が40年間の研究生生活の中でゴリラから学んだ人間の生き方を伝えています。情報があふれる現代社会でいかに自分らしく生きていくのか。中高生に向けた「野生の心を持って旅立とう」という著者からのメッセージは、コロナ禍の現在において私たちの胸に響きます。



『スマホをひろったにわとりは』
 ▶ニック・ブランド / 作
 ▶いしだみき / 訳
 ▶マイクログマガジン社 (E/ブ)
 ミス・ポップコーンはとても友達思いのにわとりです。ある日、馬小屋で不思議な光る箱を見つけます。その箱には次から次へとメッセージが届き、すっかり夢中になったミス・ポップコーンは一体どうなるのでしょうか。小さな子どもも読める絵本です。

DATA 9月のデータ (9月末現在)

	件数	1月からの累計
火災発生	0	6
救急車出動	103	991
交通事故	5	93
急病	66	644
一般負傷	23	176
その他	9	78
救助出動	3	20
交通事故	85	743
物損事故	80	699
人身事故	5	44
死者	0	0
傷者	6	54

	数	増減
総人口	41,613人	+9人
男	20,617人	+1人
女	20,996人	+8人
総世帯数	16,749世帯	+11世帯



老人福祉のために▶伊藤健治さんご遺族 松永さんから1千万円
 地域医療のために▶匿名で10万円
 社会福祉のために▶岩田紀代子さん、伊藤陽子さんから50万円
 ▶(株)デンソートリムから66,586円▶匿名でもち米30kg▶カラオケサークルUta友 チャリティ・カラオケ大会参加者一同から38,400円

令和2年7月豪雨災害へのご支援ありがとうございます

菰野町では、令和2年7月豪雨災害の被災地に対する義援金の受付を行っています。皆さまから義援金として、109,181円(10月23日現在)のご支援をいただきました。この義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ送ります。

問い合わせ

総務課
 安全安心対策室
 TEL 391-1102
 FAX 394-3199



地域の子どもは 地域で守る

子どもたちの非行防止と
健全育成を目指して——
日常に潜む危険や犯罪に
子どもたちを巻き込ませない。
「地域の子どもは地域で守る」
そんな思いを胸に
菰野町少年補導員会は活動しています。

PATROL
つなぎあう手と手で
非行のない町に
菰野町少年補導員会

菰野町 少年補導員会

町内の学校や区長の推薦により17人の補導員が委嘱されており、町内の子どもたちの安全を守っています。



活動

1

地域を巡回

班別補導

夜間の時間帯を中心に町内の商業施設やコンビニエンスストアなどを巡回しています。黄色いベストを着用し、班に分かれて地区ごとにコースを決めて行っています。



活動

2

見守りの徹底

特別補導

三滝川燈火まつりや地藏盆などのイベントでも特別補導として見回りを行っています。夜間、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう声掛けなどを行っています。



活動

3

情報の共有

聞き取り

町内の商業施設や店舗で子どもたちのトラブルや問題行動がないかなど聞き取りを行っています。四日市西警察署や各区の役員などとも情報共有を図っています。